

3月31日（月）さようなら

扇小学校で張り切って勤めていただき異動していく先生たちを見送りました。**お別れの会**では、数人が涙ながらに扇小学校のすばらしさを語ってくれました。別れは本当につらいものです。しかし、悲しんでばかりもいられません。見送った後は、明日の**準備**。新しい仲間を迎えるために、残った職員が遅くまで活動してくれました。

令和6年度の教育課程をこれですべて修了いたしました。一年間、**たいへんお世話になりました**。



3月30日（日）満開

近所で**満開**の桜をたくさん見ることができました。本日はオフ。本屋へ行き、新年度から読むべき**本**を買いました。明日からはまた忙しくなります。異動する者もネット上、新聞で**発表**されました。寂しさと新しい年度への希望と、この複雑な気持ちが数日続いています。今日は久しぶりに一日ゆっくりしました。明日からの栄養補給を桜と本からもらいました。



3月29日（土）令和7年度

本日は学校で仕事。異動していく者と転入してくる者へ渡す資料等を作りました。職員室に、四月からの**カレンダー**が貼ってあることに気づきました。いよいよ新しい一年が始まります。昨日の暖かさがウソのような寒さ。年度が終わる寂しさを感じずにはいられませんでした。



3月28日（金）開花

学校で桜を見つけました。やっと**花**を咲かせてくれました。これからはどんどん増えていくでしょう。**カメ**もみんな元気です。甲羅干しをしている四匹の姿を見ました。



職員は教室の片づけや来年度の準備。異動が予定されている者は荷を作ることを始めました。プロ野球も今日から開幕。「春が来た」ことを肌で感じるができる日でした。

3月27日（木）研修・初任者

子供たちは本日から春休み。しかし我々職員にとっては、休業日は多忙です。教室の片づけ、資料等の整理、次年度への引き継ぎ、四月に始まる新年度の会議等の資料作りなどなど。そんな中で本日は研修がありました。希望者のみのものでしたが、予想以上に多くの者が参加しました。ICTの進化についていくためにも、定期的に情報を仕入れていかないとついていけなくなりそうです。

本校で教員人生をスタートさせた者が三名います。一年を終えて、感想を聞いてみました。「あっという間の一年だった」「楽しかった」「不安が大きかったがいろんな先生に助けてもらえた」「来年度もがんばりたい」「このクラスを担当できてよかった」「学び合いが分かってきた」などなど、初々しい素直な感想を聞けました。扇小学校でスタートできたことをラッキーだと思ってもらいたいです。



3月26日（水）修了式

令和6年度の教育課程がすべて修了しました。修了式では、児童代表の子が素晴らしい話をしてくれました。

「特に漢字をがんばった。満点を取るためにかなり勉強した。五時間やったこともあった。結果は惜しくも2問間違。泣くほど悔しかったが、先生が教えてくれた。点数より大事なことは努力したことだと」胸が熱くなるような話を、50周年の年の最終日にこんな素敵な話を子供から聴けるとは、幸せです。

子供たちに渡された物は修了証（通知表）だけではありません。担任から、進級を祝うものが手渡されました。あ



るクラスでは「〇〇賞」**賞状**、あるクラスでは**思い出**の写真、あるクラスでは**特製**の通知表など。担任の真心込められたそれぞれの物を見ることができました。あるクラスには、黒板に**チケット**がはってありました。次の学年行きのもの。4月8日に一つ上の学年に到着するように書かれています。子供たちもそれぞれの思いをしっかりと受け取ってくれることでしょう。

全員に、一人ひとりに**修了証**を渡しました。担任は一言かけて手渡しました。あるクラスでは、担任からもらった修了証を手に、全員の前で「一年間で**成長**したこと」と「次の学年で**楽しみ**なこと」を話すことになっていました。

「この一年間で、あいさつを元気にできるようになりました。〇年生では、理科の勉強が楽しみです」などと、全員に伝え、全員から**あたたかい拍手**をもらっていきます。とってもあたたかい場面でした。



3月25日（火）卒業証書授与式

第50回卒業証書授与式を行いました。135人の卒業生がとても立派な態度で式に臨めました。写真は、退場する姿です。1組から退場していくと、最後となる4組の子数名は**涙**を拭き始めました。最後の子たちが席を立ったときには、私も本当に寂しい気持ちになりました。式終了後は、最後の**学級指導**、体育館での**集合写真**。その後も別れを惜しむかのように、担任や友達との**記念撮影**がずっと続いていました。いつまでも続きました。



3月24日（月）門出・準備・通知表

明日が卒業式。在校生と卒業生がそろそろ**最終日**となっていました。門出を祝い、下校する六年生を**在校生全員**で見送りました。校庭につくった在校生の人の列の間を歩く卒業生には、**大きな拍手**と「卒業**おめでとう**」声が送られました。「門出式を終了します。担任の先生の指示



に従って、安全に下校しましょう」とアナウンスの後も、下校していく六年生にずっと手を振っている子がたくさんいました。憧れの六年生は、明日、扇小学校を、巣立っていきます。

卒業式の準備を張り切って行ってくれたのは、四月から最高学年になる五年生です。話しかけづらい雰囲気でしたが、数人にどんな気持ちで取り組んでいるか聞いてみました。「卒業生にがんばってもらいたい」「保護者の方にも気持ちよく参加してもらいたい」「たくさんの方が来るからきれいにしておきたい」「六年生への感謝の気持ちを忘れないように掃除している」などなど、嬉しい心持ちを聞けました。四月からも扇小は安泰です。

六年生は、小学校最後の通知表を手渡されました。先生の一言も、他の学年に比べて長かったようです。通知表よりも、最後の言葉を大事にしている子もいました。「〇〇先生に、・・・と言ってもらえた」「〇〇先生、泣いてみたい」など、教室で待ってる子の間から、そんな会話が聞こえてきました。「第六学年の課程を修了したこと」を本日実感したことと思います。明日、「小学校の課程を修了したこと」の証を、渡します。



3月23日（日）墓参り

本日は、お墓参りに行ってきました。私が巣立った小学校と中学校も、ここからは見渡すことができます。墓前では、一年間が無事に終わろうとしていること、今年も立派に卒業生を送り出せそうなこと、たくさんのすばらしい同僚に助けられたおかげで健康でいることなどを報告しました。夏日になりそうな、最高の天気。卒業式を予感させてくれました。



3月22日（土）卒業

本日は、午前中、校長室にこもり卒業証書授与式の式辞



の見直しを何度もしました。読む度に、改善点が思いつき、またスタートに戻ることもあります。昨日、六年生にももらった**感謝の手紙**や卒業アルバムの**作文**もじっくりと読むことが出来ました。卒業式の日が発行する**学校だより**も作りました。頭の中は、25日のことで一杯です。良い天気になりそうで、ほっとしています。

3月21日（金）感謝・お別れ・作品集

休み時間、たくさんの職員が職員室の廊下に並んでいました。**三年生**の子が**感謝の手紙**を渡すために、呼んだのです。担当の子が順に「一年間ありがとうございました」にあたたかい言葉を添えて、手紙を渡していました。もらった先生の中に「**忘れないでね**」と返した者がいます。すると子供たちは「**忘れないよ！**」と力強く答えていました。素敵な場面ですが、少し寂しい気持ちにもなりました。

朝、校内を回ると、多くのクラスの**黒板いっぱい**に本日の会の準備がありました。「お楽しみ会」「お別れ会」「感謝の会」「卒業パーティー」など、タイトルはそれぞれですが、**別れを惜しんで**楽しい時間を過ごすのです。あるクラスには、後ろの黒板に「〇〇先生、**ありがとうございました**」と、掲示があります。楽しい時間を過ごして、明るい気持ちで**進級**を迎えてもらいたいと願いました。

いくつかのクラスで、**一年間**の作品集をつくっていました。先生が保管していたプリントや作品が配布され、それに表紙をつけて**まとめる**活動です。4月、5月に書いたものが配られると「**なつかしー**」と読み始める子が続出。束ねるまでに時間がかかっていました。二年生の教室ではこれを私に見せてくれました。「これ見て」「**これも見て**」と、懐かしい作品をたくさん見せてもらいました。



3月20日（木）春分

本日は祝日。本来なら、**お墓参り**に行きたいところです



が、昨日の雪を考え日を変えることとしました。学校で仕事をしていると、校舎内で工事が始まりました。午前中には、野球の練習が校庭で始まりました。年度末の仕事をするために、職員数名が出勤してきました。来客もあり「あーくんとそーくん」という本を持ってきてくれました。医療的ケア児がいる風景をマンガで綴ったもの。各学校に回っているとのことでした。

3月19日（水）うどん・なぞ・かるた

朝から雪。寒い一日となりました。そんな寒さを忘れさせてくれたものが、一杯のカレーうどんでした。おうぎ学級、今年度最後の調理実習で作ったもの。それを、校長室に届けてくれました。できたてであつたかく、しかもおいしいうどんを食べ、体があたたかくなりました。食べ終わって、お礼を言い家庭科室に行くとすでに片づけが始まっていました。肩くんで仲良く片付ける様子を見て、さらに心があたたかくなるのを感じました。

六年生がなぞが書かれた用紙を持って、校内を歩いていました。なぞを解いて、その場所に行き、小学校生活を懐かしむ活動のようです。私も数人から問題を見せてもらいましたが、解決する助けにもなりませんでした。「分からなかったら友達に聞く」ことを常にしている六年生は、職員室で仕事をしていた先生に助けを求めています。師弟で真剣に問題を解決する姿は微笑ましいものでした。

給食最終日。放送室には、郷土かるた大会に出場した子供たちが集まりました。市の大会、県の大会に出場した結果、取り組んできてよかったこと、かるたの価値、そして、ぜひ同じ感動体験を味わってほしいと、訴えました。動画視聴やゲームに夢中になる時間が増えている子供たちの生活の中に、少しでも仲間と味わえる感動体験の時間を増やしてほしい、私も切に願っています。



3月18日（火） 予行・引継・掃除

卒業証書授与式の予行を行いました。当日に合わせ、入間市教育委員会からの**ご来賓**にも参加していただきました。本校**元教頭**であるご来賓の方は、子供たちが**立派**に証書を受け取る姿を見て、**嬉しくて**涙が出そうになったと、後に話してくれました。私も六年生の態度は立派だったと思います。**緊張**もあったはずですが、四、五年生がじっと見ている中で証書を受け取ったり、別れの言葉を言ったりしたのです。今日の姿を保護者に見ていただく、その日が近づいてきました。

予行後に行った**引き継ぎ式**では、卒業生、在校生の代表がそれぞれに向けて**メッセージ**を述べました。感動的でした。卒業生からは「中学に行っても全力で取り組む」**決意**と、「明るくて居心地のよい学校にしてほしい」**願い**が語られました。在校生からは「六年生のようにメリハリのある、責任感のある人になりたい」という**宣言**が語られました。六年生も安心して卒業していってくれるでしょう。

朝の掃除の時間、**一年生**の教室を回ると、皆、一生懸命に取り組んでいます。いつものことかもしれませんが、もうすぐ自分たちの**後輩**が使う教室であることを感じているかのようです。廊下のほうきや雑巾の担当の子も、ほとんどが**無言**で行っています。話しかけにくい雰囲気さえ感じました。**六年生と一緒に**掃除していたことが、遠い過去のように感じるほど、嬉しい姿です。



3月17日（月） 空気・検定・アルバム

図工室で授業を終えた六年生の素敵な姿を二つ見ることができました。一つは、**片づけ**を終えて教室を後にする子供たちが担当の先生に「一年間ありがとうございました」と**感謝の気持ち**を伝えていたこと。二つ目は、名残惜しそうに片づけをしていた子供たちが「**図工室の空気**を持って



帰ろう」と作品やビニル袋に空気を入れていたこと。扇小
学校が大好きなのでしょう。嬉しくなりました。

九九検定も残り数名となりました。まだ合格していない
子が、休み時間の度に校長室にやってきます。しかも数人
が付き添ってやってきます。教室で特訓してあげている子
が、応援にやってくるのです。九九を覚えるのも大事なこ
とですが、友達が応援してくれることを実感している子の
経験はとっても重要なことだと感じます。もうしばらくは、
友達の温かさを感じていてほしいとも思っています。

卒業アルバムが出来上がりました。それを知らせてく
れたのは六年生です。数人が、昼休みに校長室にやってき
たのです。「サインをしてほしい」と。白いページには、
友達からのメッセージが、仲良く並ぶように書いてあり
ます。「先生へのお願いはOKなのか」を確認すると、「ま
だ許可は出ていない」とのこと。卒業式が近づくと、毎年
出合うこのような場面を、愛おしく感じます。



3月16日（日）雨

本日は、地元のお祭りに参加するために出勤しました。
しかし、雨は弱くならず心配な気持ちで仕事をしてい
ました。開始時刻に会場に行くと、中止であることが分か
りました。彩の森公園では、クロスカンントリーが行われて
います。参加する子供たちの健康を心配する時間が訪れ
ました。近くに行ってみると、大会は実施されているよう
でした。雨の中でもがんばる子に、車内からエールを送ら
せてもらいました。



3月15日（土）卒園・研修

近隣幼稚園の卒園式に参加してきました。昨日同様、担
任の先生の涙を見るともらい泣きしてしまいます。四月
からは小学生。扇小にもたくさんの子が入学して来ます。
約一時間、姿勢を崩さずに座っている子ばかりでした。証



書をもらう態度も立派でした。きっと小学校でも張り切って楽しく勉強してくれることでしょう。

午後は地区の算数研修会がありました。一年間の研修を振り返り、それぞれがレポートを作ってきました。授業でも「振り返り」が大事なように、我々の研修にも「振り返り」が重要だと再認識しました。すでに、来年度からの研修についても話題があり、研修の継続、発展を感じて嬉しくなりました。



3月14日（金）卒業・奉仕・献立

向原中学校の卒業証書授与式に参加してきました。3年前に本校を卒業した子たちが、ここで義務教育を終えることとなります。感慨深い思いです。送辞、答辞ともに感動的でした。聞きながら涙している卒業生も数人いました。合唱「遥か」「旅立ちの日」にも感動しました。毎回もらい泣きしてしまうのは、担任した先生の涙を見たときです。今年も泣いてしまいました。



卒業を控えた六年生が「学校をきれいにする」活動に取り組んでくれました。トイレ、教室、廊下、階段、体育館などを掃除してくれました。5時間目のこと。下学年は授業です。その邪魔にならないように、黙って取り組んでくれました。職員の中にも「作業をしていることに全く気づかなかった」と言っていた者もいたほどです。学校がきれいになりました。下学年がきれいなまま使ってくれることを願います。



給食はビビンバでした。六年生のリクエスト献立です。ごはんの部では圧倒的な人気だったようです。1組では1位「ビビンバ」2位「カレーライス」、2組では「白米」「ビビンバ阿」、3組では「ビビンバ」「ちらし寿司」、4は「カレーライス」「チキンライス」が、アンケート結果の上位でした。リクエスト献立はこの後も続きます。18日にカレーライス、19日（最終日）にちらし寿司。楽しみですが、終わってしまう寂しさもあります。



3月13日（木）竹馬・成長・自走

一年生の子が嬉しそうに教室から生活科室に異動していきました。後を着いていくと、竹馬を手にした子が笑顔いっぱいでのこの後の活動について教えてくれました。「乗れるようになったよ!」「一本でも歩けるんだよ」「補助の足がなくても歩けるよ」などなどと、自慢してくれました。活動場所は校庭。校庭に着いていくことはできなかったのですが、戻ってくる時にこの子たちと再会しました。

「どうだった?」と聞くと、先ほどの表情とは違いくらい顔で「もっとやりたかった」「もう終わった」と話してくれました。

一年生がキャリアパスポートを書いていました。一年生でできるようになったこと、一年生の思い出、どんな二年生になりたいかなどを書き込んでいます。「優しくて、漢字がきれいに書ける二年生」「教えられる、助けられる二年生」「いろんなことができる二年生」「頭がいい二年生」などの宣言を後で見せてもらいました。このパスポートを持って、四月から二年生。先輩になります。

本日も六年生に数学の授業をさせてもらいました。すばらしい姿に出会いました。私が「10まで計算しましょう」という指示を出した後の活動です。ある子が20以上まで計算していました。この子は授業が終わる頃には、100を越えるところまで計算をして、私が発見してほしいことをはるかに超える発見をしました。自走する子が目の前にいて、自分が行う授業でその姿を発揮してくれたのです。これ以上嬉しいことはありません。



3月12日（水）片づけ・数学・物語

五年生の子が朝、体育館の片づけをしてくれていました。フロアにある跳び箱やマットなどを倉庫に入れてくれました。卒業式のためです。いす並べもこの日にありました。「はい、喜んで」と言わんばかりに愉しんで活動し



ている様子を嬉しく思いました。「卒業生のため」「卒業式のため」との**目的**をしっかり理解した上での活動であることが分かります。

卒業していく六年生に向けて、**数学の授業**をさせてもらいました。数学の**奥深さ**や**楽しさ**、**不思議さ**を感じてもらうと共に「**疑問**」や「**不思議**」を大事にしてもらいたいという願いを込めて行っています。「**たし算とは？**」の解答も明確に説明できないこと、繰り上がりを見視したたし算でも間違えることがあること、たし算も中学、高校、大学の数学に**つながっていく**ことを感じてもらえたら嬉しいです。

四年生の教室に入ると、図工を行っていました。**物語**を作品にしています。ある子が私の所に来て「〇〇さんの**見てあげて**」と、何人もの作品を案内してくれました。二、三人、このツアーが続くと**数人**が私たちの**後ろ**に就いてくるようになりました。「〇〇さんのものも見てもらおう」という声があがり、教室内を**何周も**する結果となりました。最後に案内された作品は「**お手紙**」でした。



3月11日（火）式・三角・九九

六年生の**卒業式練習**も、本日は証書授与を行うまでとなりました。証書授与はほぼ全員がよくできていたと思います。私は最後のお願いを2つしました。「式なので、決まったことは決**まったとおり**に行うこと」「**目的**をよく考えて行動すること（なぜ入場に**音楽**が流れているか、なぜ呼名で**返事**をするか）」。おそらく本番は確実に動いてくれると思います。

一年生の算数では、折り紙を使って課題に取り組んでいました。「折り紙3枚で1つの**三角形**を作る」という問題には、多くの子が頭を抱えながら折り紙を折っていました。ある子が「**できた！**」と声を出すと、自然に**数人**が集まってきました。「勝手に出歩いてはいけない」というルールだけが浸透している学級ではこのような素敵な姿は生ま



れません。集まった子は自分で納得したら、**すぐに自席に戻って活動を始めていました。**

二年生の**九九検定**もゴールが近づいてきました。しかしここからが大変です。なかなか合格しない子もいます。今週からは**ペア**で校長室に来ることとしています。**緊張**を和らげたり、**応援**を感じたりするために、受験者の横に一人がついているのです。本日は3人が合格しました。苦勞した分喜びも大きく、ペアの子も一緒なので、**歓声も二倍**に聞こえました。



3月10日（月）制作・お面・選定

図工室では、**六年生**が卒業制作に取り組んでいました。小学校生活**最後の図工**の作品です。ちょうど六年生の学年コーナーには「**あと11日**」とあったのを見てきたばかりです。ほとんどの子が完成していて、この日は鑑賞をしていました。互いの作品について「色がきれい」「キャラクターがしっかり描けている」「ていねいに描いてある」などなどをワークに書き込んでいました。この作品、**一生物**にする子も少なからずいるはずです。



二年生の図工ではお面を作っていました。これも二年生**最後の作品**になりそうです。私が一人一人に声をかけていくと、自分の**番**が迫ってきたと感じた子が数人、**お面をつけて**待っていてくれました。目が**笑顔**なのは伝わってきます。気に入った物を作れた**喜び**が分かります。このお面も一生物にしてくれたらなーと思ってしまいました。
みんな、よくできました！。



一年生の教室では、書き初め作品が**返却**されていました。学校や家で書いて提出した物を、先生が保存しておいたようです。大喜びで過去の作品を**並べて**、「これ、上手に書けている！」「最初のだ、へただったなー」など、友達と**学び合い**が始まる姿もありました。最高作はすでに選んで掲示したはずですが、**再び選定**が始まったことに笑ってしまいました。これも一生物にする子がいるかも



しれませ。みんな、よくがんばりました！

3月 9日（日）郷土かるた・教育

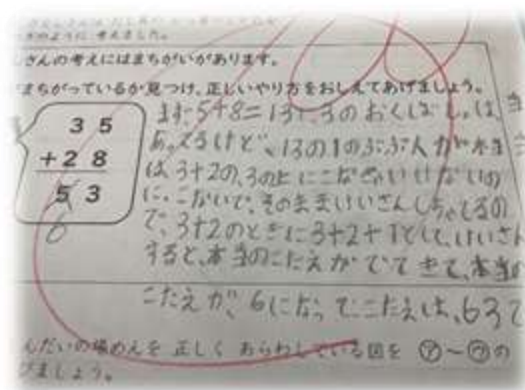
越谷市で行われた「埼玉郷土かるた県大会」に行ってきました。扇小の子が市の大会を勝ち抜いて参戦していたからです。会場には各地区予選を勝ち抜いた猛者たちが集まり熱い戦いが行われていました。応援にも力が入っていました。試合の間は声を出せないのですが、試合が終わり勝敗が分かると応援席からは歓声も上がるほど。私に許された時間内で、扇っ子チームは3連勝。月曜日に結果を聞くのを楽しみに、会場を後にしました。

ある映画を観てきました。とても感動したのですが、教育者として「教育の功罪」を考えずにはいられませんでした。「読み書きができない人」を作り上げたのも教育、それを最終的に救ったのも教育。学校を卒業する意味についても考えさせられました。社会に出て必要な力は、学校で確実につけてあげないといけないと、強く思いました。



3月 8日（土）算数

算数チャレンジも、今年度最後の問題となりました。本日はたまってしまった解答用紙の○つけを張り切って楽しく行いました。記述式問題が中心ですが、よく考えて書いている子が増えてきました。とても嬉しいことです。特に算数では考えた理由を表現できる力がとても重要なので、○つけをされていて幸せな気持ちになりました。



3月 7日（金）読聞・探究・卒業

子供たちが楽しみにしている読み聞かせ。一年生の教室では「へんしんおてんき」「しめしめ」「カラスめだまときんのつののヤギ」「かぼちゃのスープのおふろ」を読んでもいただきました。あるクラスではこの感想を学び合い



ました。「おばあさん、不思議だよね」「でも、ヘビには勝てそう」「クモでも行ける」「ドクガエルはこわいけど」など、楽しそうに発言が続いていました。本を通じていろんな価値観を分かち合えた、とても良い時間でした。

校長室にたずねて来た二人が、自分の研究したことを発表してくれました。二人とも自分の中にある「イライラ」モンスターを退治する方法を考えたとのこと。そのモンスターが現れると出歩いてしまったり、宿題ができなくなったりするのだそうです。そのモンスターをおさめるアイテムを発見し、今、活用しているとのこと。勉強ができるようになり、友達にも好かれるようになったと報告してくれました。すばらしい探究ですね。

あるクラスの学級活動では「〇〇さん扇小卒業式の計画を立てよう」という議題で話し合いが行われていました。転校する子のためにお別れ会を開くようです。それを「扇小卒業式」と、提案者が名付けたのです。何を歌うかの話し合いでも「〇〇さんに決めてもらおう」という意見が出ました。「よいところを話しても伝わるけど、いい機会だし、一生残るから手紙に書いて渡そう」などなど、思いやりを感じる素敵な意見が飛び交っていました。



3月 6日（木）レク・物語・箱

五年生が学年レクを行いました。大縄跳び、大風の日、鬼ごっこを行っていました。昼休みや給食配膳中などに、準備や練習をしていたのは知っていました。この日のためだったのだと、今日理解しました。強風の中での大縄は、思った以上に記録が伸びませんでした。それよりも見ていて感激したことが二つありました。一つはすべて子供が進行をし、指示をし、声をかけ合って活動したこと。先生は見守るだけでした。二つ目は、納得いかない結果でも誰かを責めたり排除しようとしたりする子が皆無だったこと。もちろん反省や助言の声は飛び交っていましたが、雰囲気は良かったのです。来年度は最高学年として、運動



会などを引っぱってくれるものと、期待します。

四年生の図工では、「物語」を箱の中に表現する活動が行われています。**紙粘土**を使用して、創作しています。まだ作成途中ということもあり、作りたい物語を見ただけでは分からず聞いて回りました。「ももたろう」「ごんぎつね」「どんぐり村」などはイメージが湧きました。しかし「**ペティお婆さんの台所**」「**チャッホ!**」などは、説明を受けてもどんな話なのか分かりませんでした。まずはこの話を**読んでみたい**と思いました。

二年生の算数では、頂点と辺を使って立体を作る活動をしていました。**ひご**と**ボール**を使って作ります。ひご、ボールがいくつ必要なのかを**学び合う**場面で、おもしろい活動を見ました。自分の**筆箱**を手に取り、角と辺の数を数え始めたのです。ペアの子も一緒に数え始めました。子の活動により予想が当たったかどうかは別として、**自走して学ぶ子**が育っていることを嬉しく思いました。

3月 5日（水）雪・箱・形

子供たちにとっては**最悪の降雪**となりました。校庭には雪が**積もらず**、校庭もしばらく**使えず**状態です。登校してきた子の中には「雪遊び」を期待していた子もいたようで、**うらめしそう**に校庭を見ていた子がたくさんいました。朝の会が始まる時間、もう一度校庭を見に行くと、朝礼台の上にかわいい**雪だるま**がありました。誰かが作って置いておいたのでしょう。どんな気持ちで作ったのか、とっても興味があります。

二年生の算数では、「箱を作ろう」という活動を行っていました。**6枚の正方形**を切り取って、それを箱にします。あるグループでは、一枚一枚を組み立てるのではなく、つなげて**展開図**を作っていました。右写真上です。これが箱になるか、みんなで共有し考えました。ほとんどの子が「組み立てられる」と考えました。その予想通り、この展開図は、立派に**立方体の箱**になりました。



三年生の算数では、三角形の色板を使って敷き詰めを行っていました。楽しい形がたくさんできて、完成したものが机の上に並んでいます。壊したくないのでしょう、次の活動に移らない子がほとんどでした。先生が「写真撮っていいよ」というと、歓声が上がり、タブレットを手に撮影が始まりました。写真に収めておけば、クラス全体で共有できます。何よりも、学習の歴史として、思い出として保存ができます。



3月 4日（火）遊び・水たまり・入学

朝、九九検定のために校長室にいと、四年生がドアを叩きました。普段は校長室に来ない、珍しい来客です。主訴を尋ねると「校庭で遊べる！」というのです。予想よりも雪は積もっておらず、水たまりをよければ遊べるというのがその子の主張です。寒い中でも遊びたいという気持ちはとっても嬉しいことです。体育担当の所にも行って「20分休みから遊べる」との説明を受けると、嬉しそうに戻っていきました。



四年生が理科の学習で校庭に出ていきました。就いていくと、お盆にビー玉を乗せた子が「地面の傾きを調べる」ことを教えてくれました。水が低い所に集まることを確認する実験をしたのです。雨（雪）があがったときに水たまりができる場所を知っている子が多く、その場所に行ってビー玉の転がり具合を確認していました。バスケットゴール付近で実験していたグループは「やっぱり！」と納得しているようでした。



一年生が小さな画用紙に絵を描いていました。四月に入学してくる新入生のために掲示物を作っていたのです。一年間の見通しを持てるように、四季折々の姿を手分けして描いているのです。水泳の様子、虫取りの様子、なわとびの様子、教科書、桜、チューリップなどなど。四月に入学してくる後輩のために一生懸命に描きました。4月8日、入学式の日。教室に入ると、この絵たちが新入生を



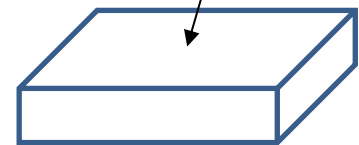
迎えてくれます。

3月 3日（月）仲間・放送・円柱

二年生の算数では、たくさんの箱が持ち込まれました。この箱を、二つの仲間に分けたようです。長方形グループと正方形グループです。するとある子が「どちらのグループに入れるか悩んでいる」箱を先生に見せました。底面と上面が正方形で、立方体ではない箱です。「正方形グループには入らない」という発言が続きました。「全部が同じ形ではないから」「6つとも正方形ではないから」「縦と横の辺の長さが違うから」など。正方形グループの箱は、全部の面が正方形であることが確認されました。

月曜日、給食中の放送は「校長からのメッセージ」を放送委員会の子が読むことになっています。今日は五年生が、2月26日のメッセージ「注意」を読んでもくれました。いつのメッセージを読むかは担当者に任せられています。きっとこの三人で、最近のメッセージの中からこれを選んだのでしょう。よくぞこれを選んでくれたということと、読み方が四月当初に比べて格段に上手になったこと、二つの喜びがありました。

五年生の子が数人で校内を歩いていました。後をついていくと、「円柱を見つける活動」をしていることが分かりました。一緒に歩いて探しましたが、意外とdものだと思いました。バトン、たいこ、タンバリン、缶など、おおよそ円柱に見える形では、五年生くらいになると認めないのである。ある子が黒板の近くで「チョークは？」と言いました。すると、その近くの子が「ダメだよ、使ったら丸くなってる」と反応。それを聞いていた子が、いいことを言いました。「新品のチョーク！」。それなら円柱だと、この子たちはワークに書いていました。



3月 2日(日) T1

埼玉県茶業研究所にて「第9回T1 グランプリ in 入間」が行われました。昨年の悔しい思いを果たすべく優勝を目指していた扇の六年生がいることを知っていたので、応援に行きました。大会は○×問題のテスト、お茶を入れる作法、お茶の選別（色とにおいで）の3つの合計点でお茶大使を決めるものです。そして見事、本校六年生が総合優勝、お茶大使に選ばれました。天晴れ！



3月 1日(土) 弥生

「気づいたら三月」。そんな気分で今日を迎えました。昨日、本校児童が交通事故にあいました。保護者に連絡を入れると「大きなケガでなかったこと」と「ショックは残っている」ことを確認できました。安心しましたが、事故の怖さも改めて感じました。月替わりなので、玄関の掲示物を刷新。週末なので、校長室前の掲示物を刷新。ダブルだったので時間はかかりましたが、愉しんで行いました。令和六年度も、あと一ヶ月となってしまいました。

